下関市教育委員会　８月定例会　資料

令和５年８月２４日（木）　９：３０～
教育センター　３階中研修室

【 目 次 】

○日程表 ……Ｐ１

［議案］
第３６号　令和６年度使用下関市立小・中学校一般図書の
採択について ……別冊①
第３７号　令和６年度使用下関商業高等学校教科用図書の
採択について ……別冊①
第３８号　下関市立美術館協議会委員の委嘱について ……Ｐ２
第３９号　財産の取得について ……別冊②
第４０号　下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則 ……Ｐ４

［報告事項］
○令和４年度決算について ……Ｐ６
○うつい小中学校開校に向けた準備状況について ……Ｐ２７
○令和５年度全国学力・学習状況調査における
下関市の結果分析について ……Ｐ３０
○大雨災害による下関市立小学校、中学校及び
下関商業高等学校の災害復旧状況について ……Ｐ４０
○新下関学校給食センターについて ……別冊③
○下関市青少年補導委員の委嘱について ……Ｐ４１
○日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の
総括評価・継続審議の結果について ……別冊③

○令和５年度下関市立考古博物館企画展「古墳の群像」
の開催について ……Ｐ４２
○電子図書館について ……Ｐ４３
○企画展「赤間関硯　堀尾信夫の挑戦」について ……Ｐ４４
○令和５年度に指定管理者を再指定する施設について ……Ｐ４５
○令和６年度下関市立就学前施設の園児募集について ……Ｐ４６

教育委員会定例会　日程表

令和５年８月２４日（木）　９時３０分から
下関市教育センター　３階 中研修室

開会

署名委員指名

教育長報告

議事等

日程１　【議案】

第３６号	令和６年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択について	教育研修課
第３７号	令和６年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について	教育研修課
第３８号	下関市立美術館協議会委員の委嘱について	美術館
第３９号	財産の取得について	歴史博物館
第４０号	下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則	教育政策課

日程２　【報告事項】

令和４年度決算について	教育政策課
うつい小中学校開校に向けた準備状況について	教育政策課
令和５年度全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について	教育研修課
大雨災害による下関市立小学校、中学校及び下関商業高等学校の災害復旧状況について	学校支援課
新下関学校給食センターについて	学校保健給食課
下関市青少年補導委員の委嘱について	生涯学習課
日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の総括評価・継続審議の結果について	文化財保護課
令和５年度下関市立考古博物館企画展「古墳の群像」の開催について	文化財保護課
電子図書館について	中央図書館
企画展「赤間関硯　堀尾信夫の挑戦」について	美術館
令和５年度に指定管理者を再指定する施設について	豊浦教育支所
令和６年度下関市立就学前施設の園児募集について	幼児保育課

日程３　【その他】

■次回開催予定　<u>令和５年９月２７日（水）</u>

R5. 9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

R5. 10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

閉会

下関市教育委員会
議案第３８号

下関市立美術館協議会委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和５年８月２４日

下関市教育委員会
教育長　磯部　芳規

下関市立美術館協議会委員の委嘱について

博物館法（昭和２６年法律第２８５号）第２３条及び下関市立美術館の設置等に関する条例（平成１７年条例第１２０号）第１１条の規定に基づき、下関市立美術館協議会委員を下記のとおり委嘱する。

記

１　委嘱者　　別紙名簿のとおり

２　任　期　　令和５年９月１日から令和７年８月３１日まで

提案理由

下関市立美術館協議会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱するもの。

別紙

下関市立美術館協議会委員名簿

	区　分	氏　名	役職名等	備考
1	学校教育関係者	小戸（おど）　毅（つよし）	下関市中学校教育研究会美術部会会長 下関市立東部中学校校長	**新任**
2		清永（きよなが）　修全（のぶまさ）	東亜大学芸術学部アート・デザイン学科教授	再任
3	社会教育関係者	青木（あおき）　博美（ひろみ）	下関市連合婦人会副会長	**新任**
4		藤井（ふじい）　悦子（えつこ）	下関市教育委員会社会教育委員	**新任**
5		重井（しげい）　民雄（たみお）	下関市立美術館友の会会長	再任
6	家庭教育関係者	戸﨑（とさき）　由弥（ゆみ）	学校法人徳応学園幼保連携型認定こども園 長府幼稚園副園長	再任
7	学識経験者	和田（わだ）　健資（たけし）	一般社団法人下関観光コンベンション協会副会長 株式会社寿美礼代表取締役社長	再任
8		五十嵐（いがらし）　美紀子（みきこ）	下関市文化協会会長 声楽家	再任
9		山中（やまなか）　奈津子（なつこ）	元コミュニティエフエム下関（カモンＦＭ）パーソナリティー	再任
10		伊東（いとう）　丈年（たけとし）	九州芸術学館山口校代表	再任

（委嘱期間：令和７年８月３１日まで）

下関市教育委員会
議案第４０号

下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則

上記議案を提出する。
令和５年８月２４日

下関市教育委員会
教育長　　磯　部　芳　規

下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則

下関市教育委員会事務分掌規則（平成１７年教育委員規則第５号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

<table>
<tr><th>改正前</th><th>改正後</th></tr>
<tr><td>第３８条　略
（３）　下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第５条の規定により設置された附属機関
<table>
<tr><th>名称</th><th>担任する事務</th><th>庶務を担当する組織</th></tr>
<tr><td>下関市指定管理候補者選定委員会（重要文化財旧下関英国領事館）</td><td>旧下関英国領事館の設置等に関する条例（平成２５年条例第１７０号）第１８条第１項の規定による重要文化財旧下関英国領事館の指定管理候補者の選定について審議すること。</td><td>文化財保護課</td></tr>
</table></td><td>第３８条　略
（３）　下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第５条の規定により設置された附属機関
<table>
<tr><th>名称</th><th>担任する事務</th><th>庶務を担当する組織</th></tr>
<tr><td>下関市指定管理候補者選定委員会（下関市小野ふれあいセンター）</td><td>下関市ふれあいセンターの設置等に関する条例（平成１７年条例第１１５号）第１０条第１項の規定による下関市小野ふれあいセンターの指定管理候補者の選定について審議すること。</td><td>豊浦教育支所</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

附　則

この規則は、公布日から施行する。

提案理由

下関市指定管理候補者選定委員会（下関市小野ふれあいセンター）の設置及び下関市指定管理候補者選定委員会（重要文化財旧下関英国領事館）の任務の終了に伴う所要の条文整理を行うため。

報　告　事　項
令和５年８月２４日
教　育　政　策　課

令和４年度決算について

令和４年度教育委員会の所管に係る教育費の決算について、別紙のとおり報告いたします。

（単位：円）

款	項	目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率（%）	主な事業等
教育費（大学費及びスポーツ振興課所管分を除く）			8,505,418,900	7,544,321,556	370,302,000	590,795,344	88.70	
	教育総務費		1,044,247,000	985,501,540	8,537,000	50,208,460	94.37	
		教育委員会費	21,171,000	20,429,422	0	741,578	96.50	教育委員会運営業務（教育長及び教育委員の人件費等）
		事務局費	1,023,076,000	965,072,118	8,537,000	49,466,882	94.33	一般管理業務（教育政策課・学校教育課・教育研修課・学校支援課等の人件費）、適正規模・適正配置事業、教育センター管理運営業務、私学振興教育、指導主事、児童生徒教職員管理、就学奨励、教職員技術指導研修、学校業務推進、外国語指導助手、教職員研修推進（中核市）、学力向上推進事業、ふるさと学習支援事業、コミュニティ・スクール推進事業、生徒指導推進、いじめ・不登校総合対策、特別支援教育推進事業、スクールバス運営業務、ＩＴ（情報技術）推進事業
	小学校費		1,698,165,000	1,362,770,371	212,627,000	122,767,629	80.25	
		学校管理費	947,554,000	935,079,462	0	12,474,538	98.68	一般管理業務（小学校に勤務する職員の人件費及び管理運営費）
		教育振興費	275,309,000	239,113,507	0	36,195,493	86.85	要（準）就学援助、特別支援学級奨励、遠距離通学補助、教材整備推進、特別活動推進、特別支援学級設備整備業務、コンピューター整備事業
		学校建設費	475,302,000	188,577,402	212,627,000	74,097,598	39.68	小学校施設改修事業、空調整備事業、長寿命化事業
	中学校費		1,506,745,900	1,273,755,758	104,982,000	128,008,142	84.54	
		学校管理費	465,505,000	447,194,074	0	18,310,926	96.07	一般管理業務（中学校に勤務する職員の人件費及び管理運営費）
		教育振興費	216,033,000	175,633,950	0	40,399,050	81.30	要（準）就学援助、特別支援学級奨励、遠距離通学補助、教材整備推進、特別活動推進、特別支援学級設備整備業務、コンピューター整備事業
		学校建設費	825,207,900	650,927,734	104,982,000	69,298,166	78.88	中学校施設整備事業、空調整備事業、長寿命化事業、屋内運動場整備事業
	高等学校費		505,798,000	492,495,078	0	13,302,922	97.37	
		高等学校総務費	447,474,000	436,964,697	0	10,509,303	97.65	一般管理業務（下関商業高等学校に勤務する教職員の人件費等）、姉妹校交歓
		高等学校管理費	30,906,000	28,914,647	0	1,991,353	93.56	学校管理業務
		教育振興費	27,418,000	26,615,734	0	802,266	97.07	各教科振興 情報処理教科振興業務 （インテリジェントスクール構想事業に基づくコンピューターシステムの環境整備、1人1台端末、大型提示装置等の維持管理）

（単位：円）

款	項	目	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率（%）	主な事業等
	社会教育費		2,113,242,000	1,974,977,288	44,156,000	94,108,712	93.46	
		社会教育総務費	675,135,000	660,922,956	0	14,212,044	97.89	一般管理業務（生涯学習課・文化財保護課・中央図書館・美術館・歴史博物館等の人件費）、総合的推進業務（下関市生涯学習まちづくり出前講座、関門海峡・温故知新塾、市民文化セミナー）、公民館学級、社会教育団体育成
		青少年対策費	45,283,000	43,896,307	0	1,386,693	96.94	学校・家庭・地域の連携協力推進事業（地域学校協働本部、放課後子供教室）、青少年健全育成（成人の日記念事業、子供指導者研修、青少年団体育成等）、青少年補導センター運営業務、青年の家
		文化財保護費	170,362,000	110,240,031	44,156,000	15,965,969	64.71	一般管理業務、文化財施設等管理、旧下関英国領事館管理運営業務、埋蔵文化財保護調整、分布調査、発掘調査、発掘調査（市街地開発課）、資料整理、文化財愛護普及、史跡等保存整備、史跡前田砲台保存整備、長門鋳銭所跡出土遺物保存活用、文化財総合調査
		公民館費	236,848,000	222,824,302	0	14,023,698	94.08	一般管理業務（公民館の管理運営）
		図書館費	311,124,000	307,297,741	0	3,826,259	98.77	一般管理業務（中央館（1館）地域館（6館）の運営管理） リクエスト受付、各種行事開催等による図書館利用の普及促進 調べ学習、読み聞かせ等のための小・中学校貸出用図書の整備・充実
		博物館費	226,255,000	219,556,037	0	6,698,963	97.04	歴史博物館管理運営業務、歴史博物館展示業務、歴史博物館資料収集保管業務、歴史博物館調査研究普及業務、東行記念館管理運営業務、考古博物館管理運営業務、考古博物館展示業務、考古博物館調査研究業務、考古博物館教育普及業務、鳥山民俗資料館管理運営業務、人類学ミュージアム管理運営業務、調査研究業務、資料収蔵室管理運営業務、豊北歴史民俗資料館管理運営業務、豊田ホタルの里ミュージアム管理運営業務
		美術館費	167,247,000	147,148,532	0	20,098,468	87.98	管理運営業務、美術館改修業務、展覧会開催業務、美術品資料収集、調査研究業務、普及教育業務
		生涯学習施設費	280,988,000	263,091,382	0	17,896,618	93.63	ふれあいセンター（豊浦・宇賀・小野）・学習会館（芝・串）の管理運営 豊田及び豊北生涯学習センターの管理運営 菊川ふれあい会館の管理運営 生涯学習プラザの管理運営
	保健体育費		1,637,221,000	1,454,821,521	0	182,399,479	88.86	
		保健体育総務費	911,344,800	770,924,822	0	140,419,978	84.59	一般管理業務（学校保健給食課・学校給食調理員の人件費）、学校保健管理業務、学校給食管理業務、学校給食衛生対策、民間委託業務（吉見小、木屋川中、宇賀小）、要保護及び準要保護就学援助（給食費、医療費）
		体育振興費	6,260,000	6,260,000		0	100.00	学校体育振興育成業務（中学校体育連盟）
		学校給食共同調理場費	719,616,200	677,636,699	0	41,979,501	94.17	学校給食共同調理場運営業務 管理運営業務（南部・中部・豊田町・豊浦町・黒井・滝部学校給食共同調理場） 民間委託業務（南部・中部・豊田町・豊浦町・黒井・滝部学校給食共同調理場）

令和４年度決算

教育委員会の主要な施策の成果について

No.	事業名		所管課	予算区分
1	一般施策	蓋井地区中学校開校	教育政策課・学校支援課	当初
2		特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	当初
3		学校司書配置	教育研修課	当初
4		小・中学校体育館照明ＬＥＤ化事業	学校支援課	当初
5		学校トイレ快適化事業	学校支援課	当初
6		学校施設長寿命化事業（大規模改修）	学校支援課	当初
7		菊川中学校体育館建替事業	学校支援課	当初
8		日本遺産フェスティバルin関門開催事業	文化財保護課	当初
9		単独調理場親子化事業	学校保健給食課	当初
10	新型コロナイルス感染症対応施策	ＧＩＧＡスクール運営支援センター整備事業	教育研修課	当初
11		授業支援ソフト活用	教育研修課	当初
12		下関商業高等学校生徒ＰＣＲ検査業務	下関商業高等学校	6月
13		社会教育施設Wi-Fi環境整備事業	生涯学習課	当初
14		社会教育施設衛生設備改善事業	生涯学習課	6月
15		感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	学校保健給食課	6月
16	物価高騰対応施策	学校給食費支援事業	学校保健給食課	7月

様式２（ハード事業・その他）

教育委員会

事業名	蓋井地区中学校開校				
予算区分	一般会計　教育費　教育総務費　事務局費　／　中学校費　学校建設費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	教育政策課 学校支援課	開始年度	令和4年度	決算書	169頁～174頁

1 事業の概要・取組

概　要	蓋井島における学校教育の機会均等を確保するため、蓋井島での継続的な学びの場を保証する教育的観点などから、島内に中学校を開校する。開校に伴い、校歌の制定、教室等の改修工事及びリースによる教職員住宅の設置を行うもの。
令和4年度の主な取組	○開校準備（合唱報償金、開校式看板作製） ○校舎改修工事（教室等改修） ○教職員住宅（リース）の設置

2 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	校舎の改修を令和４年12月に完了し、令和５年２月に教職員住宅（リース）を設置した。
今後の展開	令和５年４月蓋井中学校を開校

3 施設の概要、計画等

○ 校舎改修工事（教室等改修）
教室改修、職員室改修、理科室改修、
トイレ改修、外壁劣化部分改修、
屋根改修等

○ 教職員住宅施設の概要
規模：建築面積　70.86㎡
延床面積　137.90㎡
構造：軽量鉄骨造２階建（４戸）

4 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			65,152,259	64,212,842		939,417
主要な経費	工事請負費		60,900,000	60,676,000		224,000
	備品購入費		2,045,000	1,946,890		98,110
	使用料及び賃借料		1,177,000	871,783		305,217
財源	国庫・県支出金					
	市債		45,600,000	45,500,000		
	その他特定財源（財産収入）		445,000			
	一般財源		19,107,259	18,712,842		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	特別支援教育支援員配置事業				
予算区分	一般会計　教育費　教育総務費　事務局費				
総合計画の体系	第３章　第２節　一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校教育課	開始年度	平成19年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概　要	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を充実させ、きめ細かな教育を推進するため、障害のある児童生徒の就学支援体制の確立とともに、特別支援教育支援員の配置体制の充実を図る。
令和4年度の主な取組	障害のある児童生徒の発達の段階に応じた指導及び支援を行うため、令和2年度からの特別支援教育支援員30名の増員体制を継続し、小・中学校に143名を配置した。

2 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	特別支援教育支援員一人あたりの特別支援学級在籍児童生徒数				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R6年度)
目標値(人)	4.7	4.7	4.7	4.7	4.0
実績値(人)	4.7	5.0	5.3		
達成率(%)	100.0%	94.0%	88.7%		
評価(A～D)	B	B	C		

※評価基準(数値は達成率)　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	特別支援教育支援員を引き続き143名配置したことで、小・中学校において、重度の障害がある児童生徒の安全確保や多様な障害のある児童生徒の個々のニーズに応じたきめ細やかな支援が行われた。
今後の展開	対象児童生徒の増加により、令和4年度末、支援員一人あたりの児童生徒数は目標値を下回っている状況であるため、最低限現在の支援員数を確保し、すべての児童生徒にとって安全で落ち着いた学習環境を整えていく。

4 参考情報

令和4年度	特別支援学級在籍児童生徒数(A)			支援員数(B)	指標(A/B)
	小学校 540人	中学校 214人	合計 754人	143人	5.3人

5 決算情報

(単位:円)

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		130,786,869	131,158,000	126,180,566		4,977,434
主要な経費	報酬	130,786,869	131,158,000	126,180,566		4,977,434
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源(基金繰入金)		8,000,000			
	一般財源	130,786,869	123,158,000	126,180,566		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	学校司書配置				
予算区分	一般会計　教育費　教育総務費　事務局費				
総合計画の体系	第３章　第２節　一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	教育研修課	開始年度	平成27年度	決算書	169頁～170頁

１ 事業の概要・取組

概　要	市内小中学校に下記業務を行う学校司書を配置するもの。 ・学校図書館における蔵書の受け入れ、修繕、廃棄、貸出、返却の処理 ・図書の紹介、読み聞かせ、授業に必要な資料の準備 ・学校図書館の環境整備　等
令和4年度の主な取組	・司書を１０名増員し、配置校を３２校から全小中学校に拡大した。 ・学校図書館の「読書センター」としての機能を高め、読書活動の推進を図るとともに、読書の好きな児童生徒を育てる取組を行った。 ・「学習・情報センター」としての機能を高め、学校司書による授業支援を行い、学び続けようとする児童生徒を育てる取組を行った。

２ 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	学校図書館の図書貸出冊数平均増加率				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終（R6年度）
目標値（%）		100	110	115	120
実績値（%）		100.0	121.9		
達成率（%）		100.0%	110.8%		
評価（A～D）		B	A		

※評価基準（数値は達成率）　A（110%以上）目標を上回る　B（90%以上110%未満）ほぼ目標どおり　C（70%以上90%未満）目標を下回る　D（70%未満）目標を大幅に下回る

３ 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	学校司書の増員により、１校あたりの勤務日数が増え、図書の紹介、読み聞かせ、授業に必要な資料の準備ができた。また、児童生徒と接する時間が増え、児童生徒の読書への関心が高まり、貸出率が増加した。
今後の展開	学校図書館の「読書センター」、「学習・情報センター」としての機能を高め、読書活動の推進を図るとともに、読書の好きな児童生徒や学び続けようとする児童生徒を育てていく。

４ 参考情報

【配置状況】
・小学校４２校、中学校２１校　計６３校
・Ｈ２７～２９：　５名配置、Ｈ３０～Ｒ３：１０名配置、Ｒ４～：２０名配置

５ 決算情報

（単位：円）

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		28,163,637	56,318,000	53,835,918		2,482,082
主要な経費	人件費	27,996,647	55,837,000	53,603,850		2,233,150
	その他事務費	166,990	481,000	232,068		248,932
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	28,163,637	56,318,000	53,835,918		

様式２（ハード事業・その他）

教育委員会

事業名	小・中学校体育館照明LED化事業				
予算区分	一般会計　教育費　小学校費　学校管理費　／　中学校費　学校管理費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	169頁～172頁

1 事業の概要・取組

概　要	水俣条約に基づき、2021年以降水銀を使用した製品の製造、輸出、輸入が原則禁止となった。水銀製品の製造禁止に伴い、体育館の高天井照明器具の製造も中止となっているため、体育館の高天井照明器具のLED化を推進するもの。
令和4年度の主な取組	体育館照明のLED化に取り組んだ。

2 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	小学校７校、中学校２校のLED化工事を行った。
今後の展開	令和６年度までに全ての小・中学校の体育館照明LED化を行う予定。

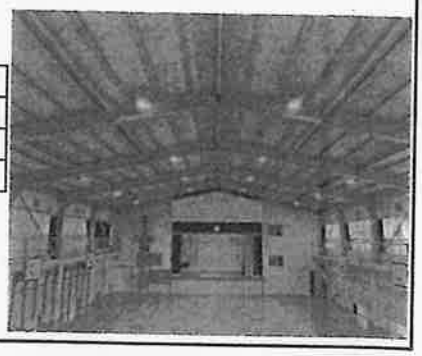
3 施設の概要、計画等

■対象施設及び事業内容

小学校32校、中学校18校の体育館高天井照明器具LED化工事

■事業スケジュール

	R2	R3	R4	R5	R6	計
小学校	8校	7校	7校	2校	8校	32校
中学校	6校	5校	2校	3校	2校	18校
計	14校	12校	9校	5校	10校	50校



4 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		35,319,900	28,600,000	24,877,600		3,722,400
主要な経費	工事請負費	35,319,900	28,600,000	24,877,600		3,722,400
財源	国庫・県支出金					
	市債	31,600,000	25,700,000	22,500,000		
	その他特定財源					
	一般財源	3,719,900	2,900,000	2,377,600		

様式２（ハード事業・その他）

教育委員会

事業名	学校トイレ快適化事業				
予算区分	一般会計　教育費　小学校費　学校建設費　／　中学校費　学校建設費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和3年度	決算書	171頁～174頁

1 事業の概要・取組

概　要	学校トイレの老朽化による５K（暗い、汚い、臭い、怖い、壊れている）により、トイレを我慢することによる体調不良などが問題となっていることから、児童・生徒の教育環境改善のためにトイレの大規模改修を行う。
令和4年度の主な取組	トイレの大規模改修に取り組んだ。

2 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	小学校３校、中学校３校のトイレの大規模改修工事を行った。
今後の展開	令和５年度は小学校４校、中学校２校のトイレの大規模改修を行う予定。

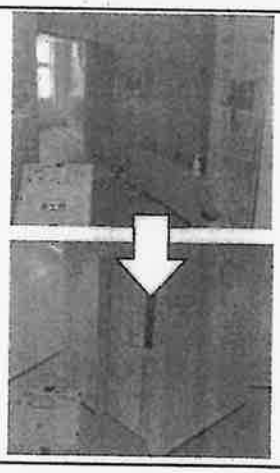
3 施設の概要、計画等

■「トイレ快適化事業」基本方針
・長寿命化改良まで10年以上の期間を要するため、
先行してトイレの大規模改修を行う。

■各年度の実施内容
委託内容：アスベスト調査委託、スラブ構造検討委託
工事内容：トイレの洋式化・乾式化、床の段差解消
内装改修（トイレブース・照明器具の更新）

■ 事業スケジュール ※R3はR4へ繰越して実施

	R3	R4	R5	R6	R7	計
小学校	-	3校	4校	2校	2校	11校
中学校	-	3校	2校	2校	2校	9校
計	-	6校	6校	4校	4校	20校



4 決算情報

(単位:円)

年度		R3	R4 予算現額	R4 決算額	R4 翌年度繰越額	R4 不用額
事業費		1,402,963	629,615,375	369,777,951	202,399,000	57,438,424
主要な経費	工事請負費		625,886,800	367,227,300	202,000,000	56,659,500
	委託料	1,195,700	1,720,000	941,076		778,924
	事務費	207,263	2,008,575	1,609,575	399,000	
財源	国庫・県支出金		109,224,000	68,426,000	43,479,000	
	市債		300,300,000	217,400,000	86,900,000	
	その他特定財源（寄附金、基金繰入金）		20,000,000	31,500,000		
	一般財源	1,402,963	200,091,375	52,451,951	72,020,000	

様式２（ハード事業・その他）　　**教育委員会**

事業名	学校施設長寿命化事業（大規模改修）				
予算区分	一般会計　教育費　中学校費　学校建設費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁～174頁

１ 事業の概要・取組

概　要	小・中学校の老朽化した校舎等の施設の長寿命化を実施し、小・中学校の機能や性能を引き上げるための環境整備を行うことにより、安全・安心を確保するもの。
令和4年度の主な取組	勝山中学校において長寿命化改良に取り組んだ。

２ 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

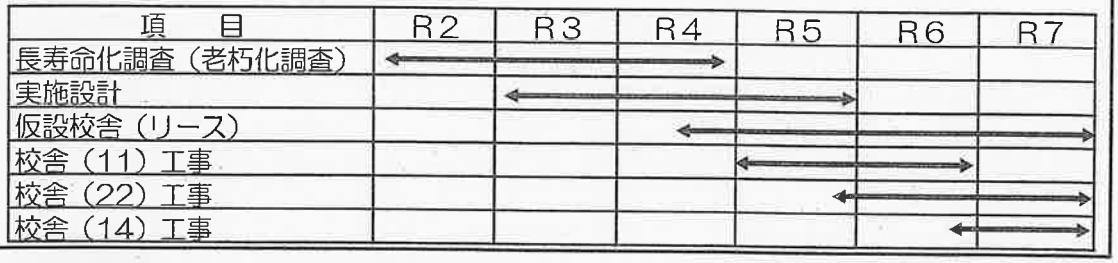
令和4年度の成　果	勝山中学校において仮設校舎（リース）を設置し、特別教室棟（校舎22）の実施設計を完了した。また、管理特別普通教室棟（校舎14）の基本設計を完了した。
今後の展開	勝山中学校において特別普通教室棟（校舎11）の長寿命化改良工事を行う。

３ 施設の概要、計画等

■対象施設
建築後40年以上経過し、今後30年以上使用するもの。
構造体の劣化状況等の調査を行い、長寿命化改修ができるもの。

■工事内容
構造体の劣化改修、水道、電気、ガス管などのライフラインの更新など

■事業スケジュール（Ｒ２～　勝山中学校　特別普通教室棟ほか）



４ 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4 予算現額	R4 決算額	R4 翌年度繰越額	R4 不用額
事業費		5,605,600	52,189,000	37,765,485		14,423,515
主要な経費	委託料	5,605,600	41,389,000	33,905,065		7,483,935
	使用料及び賃借料		10,800,000	3,860,420		6,939,580
財源	国庫・県支出金		3,600,000			
	市債		27,800,000	24,500,000		
	その他特定財源					
	一般財源	5,605,600	20,789,000	13,265,485		

様式２（ハード事業・その他）

教育委員会

事業名	菊川中学校体育館建替事業				
予算区分	一般会計　教育費　中学校費　学校建設費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	学校支援課	開始年度	令和2年度	決算書	171頁～174頁

1 事業の概要・取組

概　要	耐震二次診断・補強計画策定業務にて、高力ボルトの取替工事が必要となることが判明したため、新築建替と耐震補強工事のトータルコストを勘案すると新築建替のトータルコストが安価となることから、体育館の建替工事を実施するもの。
令和4年度の主な取組	耐震性が確保されていない菊川中学校体育館の建替工事及び旧体育館の解体工事を行った。

2 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	令和４年６月に新体育館が完成し、耐震性のない旧体育館を令和５年３月に解体した。
今後の展開	令和４年度で事業終了。今後は、新たな菊川中学校体育館について、生徒が安心安全に利用できるよう適切な維持管理を行う。

3 施設の概要、計画等

■施設の現況

建替前　：　鉄骨造２階建　1,393.99㎡

建替後　：　鉄骨造平屋建　830.74㎡

【建替前】

【建替後（外観）】

【建替後（内部）】

4 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4 予算現額	R4 決算額	R4 翌年度繰越額	R4 不用額
事業費		31,200,000	291,193,166	255,917,440		35,275,726
主要な経費	工事請負費	31,000,000	289,000,000	253,737,000		35,263,000
	事務費	200,000	2,193,166	2,180,440		12,726
財源	国庫・県支出金	9,520,000	68,516,000	79,856,000		
	市債	18,700,000	123,100,000	127,900,000		
	その他特定財源（基金繰入金）		90,000,000	48,000,000		
	一般財源	2,980,000	9,577,166	161,440		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	日本遺産フェスティバルin関門開催事業				
予算区分	一般会計　教育費　社会教育費　文化財保護費				
総合計画の体系	第１章　第１節　文化・スポーツの振興				
担当課名	文化財保護課	開始年度	令和4年度	決算書	175頁～176頁

1 事業の概要・取組

概　要	日本遺産に認定されている各地域の団体が一堂に会し、全国に日本遺産の魅力を発信するとともに認定地域相互の交流を図る大規模イベント「日本遺産サミット」を下関市と北九州市を会場に「日本遺産フェスティバルin関門」として開催するもの。
令和4年度の主な取組	下関市のメイン会場や関門両市に配置したサテライト会場において、全国日本遺産のPR展示、日本遺産の魅力を体感できるワークショップ、日本遺産の持つ歴史や文化についての公開講座、関門地域の日本遺産関連文化財を巡るエクスカーション等を実施した。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	フェスティバル当日の来場者数（１０月２９・３０日、２日間）				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R4年度)
目標値(人)			20,000		20,000
実績値(人)			36,446		
達成率(%)			182.2%		
評価(A～D)			A		

※評価基準(数値は達成率)　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	全国日本遺産PRブースとともに、地元下関をPRした。また、日本遺産を紹介する公開講座、分科会を開催したほか、シャトルバスや渡船で門司港との周遊を促し、海峡両岸で動員目標延べ20,000人を大きく超えた。
今後の展開	「日本遺産フェスティバルin関門」を開催したことによる関係団体との繋がりやノウハウを活かし、文化財を活用した情報発信、人材育成を実施し、観光客増加やシビックプライドの更なる醸成に寄与する。

4 参考情報

行事の開催に合わせ、全国近代化遺産活用連絡協議会と連携し、「日本博」拠点事業としてパネル展やプロジェクションマッピング等の企画を開催し、集客・周遊の相乗的効果を上げた。

5 決算情報

(単位:円)

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			11,601,202	11,601,202		
主要な経費	負担金		10,000,000	10,000,000		
	職員手当等		1,601,202	1,601,202		
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		11,601,202	11,601,202		

様式１（ソフト事業）　　教育委員会

事業名	単独調理場親子化事業				
予算区分	一般会計　教育費　保健体育費　保健体育総務費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和4年度	決算書	177頁～180頁

１ 事業の概要・取組

概　要	正規調理員の退職により単独調理校の調理員配置が困難となっているため、食数の少ない単独調理場の集約化及び調理の民間委託化を実施することで学校給食の継続確保を図る。
令和4年度の主な取組	令和４年度２学期より吉見小学校と吉見中学校及び木屋川中学校と吉田小学校の学校給食の親子化を実施し、併せて吉見小学校と木屋川中学校において、調理委託を実施した。

２ 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	直営の自校式給食の校数				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R6年度)
目標値(校)	36	36	29	26	15
実績値(校)	36	36	29		
達成率(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
評価(A～D)	B	B	B		

※評価基準(数値は達成率)　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

３ 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	令和４年度２学期より吉見小学校（吉見中学校）及び木屋川中学校（吉田小学校）の学校給食の親子化・調理委託化を実施し、学校給食を継続確保した。
今後の展開	学校給食の安定的な継続確保及び給食施設の改善を図るため、今後は老朽化が進む自校式の学校の再編（集約化）を進める。

４ 参考情報

５ 決算情報

(単位:円)

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			24,644,481	22,834,604		1,809,877
主要な経費	消耗品費		500,000	396,088		103,912
	備品購入費		7,835,960	7,835,960		
	委託料		16,308,521	14,602,556		1,705,965
財源	国庫・県支出金					
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源		24,644,481	22,834,604		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	ＧＩＧＡスクール運営支援センター整備事業				
予算区分	一般会計　教育費　教育総務費　事務局費				
総合計画の体系	第３章　第２節　一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	教育研修課	開始年度	令和3年度	決算書	169頁～170頁

1 事業の概要・取組

概　要	各校のICT環境を教育に最適な状態に保ち、運営上の課題に迅速に対応するために、ヘルプデスク機能や技術員派遣等のサポート体制の充実を図る。
令和4年度の主な取組	学校では、ICT機器の活用が進んでおり、それに伴った課題の解決やより一層の利活用に向けた支援体制の充実が求められる。また、ネットワーク設定や年度更新作業等の保守管理には専門的な知識が必要である。以上のことから、ICT機器の効果的な運用に係る助言や、運用上の諸課題に対応する為、ヘルプデスク機能や技術員派遣等のサポート体制の充実を図った。

2 事業の目標指標(活動指標)及び評価

指標説明	授業におけるICT機器活用に関するアンケートで肯定的回答をした教員の割合				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R6年度)
目標値(%)		85	90	95	100
実績値(%)		84.1	81.8		
達成率(%)		98.9%	90.9%		
評価(A～D)		B	B		

※評価基準(数値は達成率)　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	ヘルプデスクの設置により、学校現場におけるICT機器を活用する際の問題が迅速に解決され、安心して活用できる体制を整えた。また、技術員派遣等のサポート体制の充実により、教員の機器操作技術が向上した。
今後の展開	効果的なICT活用教育をより一層推進するため、教職員のICT活用に関する実践的な指導能力の向上を目指した研修支援の充実を図るとともに、学校におけるICT環境の整備を進め、利活用に向けた支援体制の充実を図る。

4 参考情報

・ヘルプデスク相談 1,378件　・端末設定支援 197件　・研修支援 76回　905名参加
・タブレット端末の更新作業台数
　小学校2,276台、中学校2,138台、高等学校170台 計4,584台（教員分を含む）

5 決算情報

(単位:円)

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		9,680,000	19,545,000	19,305,000		240,000
主要な経費	委託料	9,680,000	19,545,000	19,305,000		240,000
財源	国庫・県支出金	9,680,000	19,545,000	19,152,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			153,000		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	授業支援ソフト活用				
予算区分	一般会計　教育費　教育総務費　事務局費				
総合計画の体系	第３章　第２節　一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	教育研修課	開始年度	令和3年度	決算書	169頁～170頁

１ 事業の概要・取組

概　要	１人１台端末を活用した教育活動を効果的に展開するため、タブレット端末に導入するフィルタリング機能付き授業支援ソフトを整備するもの。
令和4年度の主な取組	タブレット端末に導入し、日々の授業で活用するとともに、新型コロナウイルス感染症による臨時休業等の非常時には、端末を家庭に持ち帰り、オンライン学習のためのツールとして活用した。また、ソフトのフィルタリング機能により、インターネットでの有害サイト及び有害コンテンツへの接続制限を行い、端末利用の安全性を向上させた。

２ 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	授業におけるICT機器活用に関するアンケートで肯定的回答をした教員の割合				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R6年度)
目標値(%)		85	90	95	100
実績値(%)		84.1	81.8		
達成率(%)		98.9%	90.9%		
評価(A～D)		B	B		

※評価基準(数値は達成率)　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

３ 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	日々の授業では、教材等データ送受信、意見交換、情報共有等で有効活用し、非常時には、端末を家庭に持ち帰り、オンライン学習のためのツールとして活用することができた。
今後の展開	ICT活用教育をより一層推進するため、ICT機器の利活用に向けた支援体制の充実を図り、１人１台端末を活用した教育活動を効果的に展開していく。

４ 参考情報

・整備対象　教師用端末及び児童生徒用端末
・整備内容　フィルタリング機能付き授業支援ソフト
・主な機能　教材等データ送受信、意見交換、情報共有、アンケート作成、Web検索等

５ 決算情報

(単位:円)

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			19,426,000	17,177,490		2,248,510
主要な経費	使用料及び賃借料		19,426,000	17,177,490		2,248,510
財源	国庫・県支出金		19,426,000	15,400,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			1,777,490		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	下関商業高等学校生徒ＰＣＲ検査業務				
予算区分	一般会計　教育費　高等学校費　高等学校総務費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	下関商業高等学校	開始年度	令和4年度	決算書	173頁～174頁

1 事業の概要・取組

概　要	下関商業高等学校において新型コロナウィルス感染症への感染及びその拡大リスクを低減し、安心安全な教育活動を継続するため、ＰＣＲ検査を実施するもの。
令和4年度の主な取組	主に県外との往来を伴う大会・行事に参加する下関商業高等学校の生徒及び教職員に対して令和４年７月以降ＰＣＲ検査を実施した。

2 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	ＰＣＲ検査受検者数				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終（R4年度）
目標値（人）			1,212		1,212
実績値（人）			223		
達成率（%）			18.4%		
評価（A～D）			D		

※評価基準（数値は達成率）　A（110%以上）目標を上回る　B（90%以上110%未満）ほぼ目標どおり　C（70%以上90%未満）目標を下回る　D（70%未満）目標を大幅に下回る

3 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	県外との往来を伴う大会・行事に参加する生徒・教職員に対しＰＣＲ検査を実施したことで、県下の他校と同等に安心安全な教育活動を行うことができた。
今後の展開	新型コロナウィルス感染症の５類感染症移行に伴い、現在はＰＣＲ検査の実施を取止めている。山口県においても同様にＰＣＲ検査を取止めており、現時点では検査の再開は国の動向を見守りながら検討する。

4 参考情報

本事業は、令和３年度の山口県内の高等学校の生徒等に係るＰＣＲ検査は、山口県の費用負担により実施されたが、令和４年度より下関商業高等学校については県の費用負担の対象外となったため、実施したもの。

5 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			6,700,000	1,177,440		5,522,560
主要な経費	委託料		6,700,000	1,177,440		5,522,560
財源	国庫・県支出金		6,700,000	1,000,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			177,440		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	社会教育施設Ｗｉ－Ｆｉ環境整備事業				
予算区分	一般会計　教育費　社会教育費　公民館費　／　生涯学習施設費				
総合計画の体系	第３章　第５節　生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和4年度	決算書	175頁～178頁

1 事業の概要・取組

概　要	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、オンライン講座、ウェブ会議等の開催需要が高まっており、生涯学習プラザをはじめ公民館等の社会教育施設における諸室のＷｉ－Ｆｉ環境を整備するもの。
令和4年度の主な取組	公民館等の社会教育施設の諸室のＷｉ－Ｆｉ環境を整備し、多様な生涯学習の機会を提供するとともに、若年層の利用促進を図った。

2 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	Ｗｉ－Ｆｉを設置した諸室の稼働率				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R6年度)
目標値(%)			20	22	24
実績値(%)			24		
達成率(%)			120.0%		
評価(A～D)			A		

※評価基準（数値は達成率）　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	公民館等の社会教育施設におけるＷｉ－Ｆｉ環境整備を行うことにより、オンライン講座、ウェブ会議等を開催するための体制を整えた。
今後の展開	オンライン講座やウェブ会議等が開催できることを広く周知し、更なる利用促進を図る。

4 参考情報

【整備施設】
・公民館　８館（北部、長府東、川中、彦島、小月、勝山、川棚、滝部）
・その他施設　３施設（生涯学習プラザ、菊川ふれあい会館、豊田生涯学習センター）

5 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			12,500,000	12,144,714		355,286
主要な経費	通信運搬費		300,000	44,714		255,286
	委託料		12,200,000	12,100,000		100,000
財源	国庫・県支出金		12,500,000	10,800,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源			1,344,714		

様式２（ハード事業・その他）　　教育委員会

事業名	社会教育施設衛生設備改善事業				
予算区分	一般会計　教育費　社会教育費　公民館費　／　生涯学習施設費				
総合計画の体系	第３章　第５節　生涯を通じた学ぶ機会の提供				
担当課名	生涯学習課	開始年度	令和3年度	決算書	175頁～178頁

１ 事業の概要・取組

概　要	公民館等の社会教育施設における新型コロナウイルス感染リスクの低減を図るため、施設の改善を行うもの。
令和4年度の主な取組	公民館等の社会教育施設のトイレ洗面台の一部を自動水栓化した。また、菊川ふれあい会館のトイレを洋式化した。

２ 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	各施設のトイレにおいて、全てのフロアの男女とも１台以上の洗面台の自動水栓化を実施した。菊川ふれあい会館においては、構造的に改修が困難な一部の和式トイレを除き、洋式化が完了した。
今後の展開	新型コロナウイルスの５類感染症移行に伴い社会経済活動が活発化する中で、公民館等の利用者の安全性と利便性の向上に努める。

３ 施設の概要、計画等

○社会教育施設のトイレ洗面台の自動水栓化　Ｒ４：２８施設１０４基
（内訳）
西部10、北部6、玄洋3、王司6、清末2、王喜2、吉田2、勝山6、内日2、吉見3、吉母1、楢崎2、豊田中3、三豊3、豊田下2、小串5、川棚5、室津2、神玉5、阿川3、粟野3、滝部4、角島5、菊川ふれあい会館2、小野ふれあいセンター3、豊浦ふれあいセンター2、宇賀ふれあいセンター2、豊北生涯学習センター10

○菊川ふれあい会館和式トイレの洋式化　Ｒ４：１２基

４ 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		14,256,000	17,000,000	12,113,200		4,886,800
主要な経費	委託料	14,256,000	17,000,000	12,113,200		4,886,800
財源	国庫・県支出金	13,893,000	17,000,000	10,900,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	363,000		1,213,200		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	感染症対策等の学校教育活動継続支援事業				
予算区分	一般会計　教育費　保健体育費　保健体育総務費				
総合計画の体系	第３章　第２節　一人ひとりの生き抜く力の育成				
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和2年度	決算書	177頁～180頁

１ 事業の概要・取組

概　要	小学校及び中学校の教育活動の着実な継続のため、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要となる保健衛生用品等を配備するもの。
令和4年度の主な取組	以下の物品を追加購入し学校に配備した。 ・消毒液等の保健衛生用品 ・教室等における３密対策として換気を徹底するための物品 ・感染防止の徹底のため、保健室等の衛生環境の向上に必要な備品

２ 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	保健衛生用品の配備校数				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R4年度)
目標値(校)	66	65	64		64
実績値(校)	66	65	64		
達成率(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
評価(A～D)	B	B	B		

※評価基準(数値は達成率)　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

３ 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	小・中学校において、保健衛生用品、換気対策物品、保健室等の衛生環境向上備品を、各校の実情に応じて購入し配備した。
今後の展開	新型コロナウイルス感染症は令和５年５月８日より５類感染症に移行したところであるが、今後、再び流行する事も考えられるため、感染状況を注視し、学校教育活動の継続に必要な対応を行う。

４ 参考情報

【主な購入品】

手指消毒用アルコール、手洗い用石鹸、施設清掃用洗剤、健康診断用品（歯鏡、舌圧子、手袋等）、サーマルカメラ、空気清浄機、サーキュレーター、衝立（アクリル板）等

５ 決算情報

（単位:円）

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費		16,193,853	30,000,000	26,452,408		3,547,592
主要な経費	消耗品費	12,039,255	16,000,000	14,794,018		1,205,982
	備品購入費	4,154,598	14,000,000	11,658,390		2,341,610
財源	国庫・県支出金	16,193,000	30,000,000	26,303,000		
	市債					
	その他特定財源					
	一般財源	853		149,408		

様式１（ソフト事業）

教育委員会

事業名	学校給食費支援事業				
予算区分	一般会計　教育費　保健体育費　保健体育総務費/学校給食共同調理場費				
総合計画の体系	第３章　第３節　学校の教育力の向上				
担当課名	学校保健給食課	開始年度	令和4年度	決算書	177頁～180頁

1 事業の概要・取組

概　要	コロナ禍における物価高騰の影響を受けている市立小学校・中学校給食の食材料費に対し、給食実施の維持・確保と合わせて子育て世帯の生活支援のため、令和４年度２・３学期の給食費の一部について保護者負担の軽減を行う。
令和4年度の主な取組	給食の食材料費について、物価高騰分相当額及び生活支援分として現行給食費の２分の１相当額を市が負担し、保護者負担の軽減を行った。 【市負担額】　・物価高騰分　小学校：30円、中学校：35円 ・生活支援分　現行給食費の２分の１相当額 【保護者負担額】・小学校：130円、中学校：150円

2 事業の目標指標（活動指標）及び評価

指標説明	支援の対象となる児童・生徒の食数				
指標の数値	R2	R3	R4	R5	最終(R4年度)
目標値(食)			2,327,848		2,327,848
実績値(食)			2,069,079		
達成率(%)			88.9%		
評価(A～D)			C		

※評価基準(数値は達成率)　A(110%以上)目標を上回る　B(90%以上110%未満)ほぼ目標どおり　C(70%以上90%未満)目標を下回る　D(70%未満)目標を大幅に下回る

3 令和4年度の事業成果・今後の事業展開

令和4年度の成　果	成果は主な取組のとおり。目標値(食)は最大予定食数のため、学校行事や学級閉鎖等により実績値(食)が下回り評価Ｃとなったものの、実績値(食)に対して１００％の支援を行った。
今後の展開	物価高騰等の影響を受けている子育て世帯の生活支援のため、ボートレース未来基金を財源として、市立小・中学校の給食費の半額以上を市が支援し、引き続き保護者負担の軽減を図る（令和５年度～令和７年度）。

4 参考情報

【市負担額】	物価高騰分	43,240,969円
	生活支援分	276,534,915円
	計	319,775,884円

5 決算情報

(単位:円)

年度		R3	R4			
			予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
事業費			281,764,463	226,438,801		55,325,662
主要な経費	燃料費		2,700,000	231,535		2,468,465
	光熱水費		5,264,463	5,264,463		
	賄材料費		273,800,000	220,942,803		52,857,197
財源	国庫・県支出金		392,000,000	310,000,000		
	市債					
	その他特定財源(諸収入)		▲ 110,300,000	▲ 93,337,083		
	一般財源		64,463	9,775,884		

報　告　事　項
令和５年８月２４日
教　育　政　策　課

うつい小中学校開校に向けた準備状況について

内日地区では下関市立内日小学校・中学校による施設一体型小中一貫教育校「うつい小中学校」が令和６年４月に開校しますので、開校に向けた準備状況について下記のとおり報告いたします。

記

１．内日小中一貫教育校設置検討協議会について
(1)委員構成　連合自治会、まちづくり協議会、小中ＰＴＡ、校長等
(2)委 員 数　20人（会長：連合自治会長、副会長：３名）
(3)開催回数　５回
(4)協議事項　統合時期、学校位置、校名、校歌、校章、学校指定用品等
(5)協議結果
①校名　うつい小中学校
②校章　下図のデザインとする

うつい小中学校
校章デザイン

③校歌　現在の内日小学校及び内日中学校の校歌とする。
④指定用品　校長・保護者に一任（現在の制服とする。）

２．内日小学校の改修工事について
主な改修工事の内容とスケジュール
(1)２階西側（中学生エリア）普通教室の間仕切り壁改修工事　８月～10月
(2)職員室拡張改修工事　８月～９月
(3)普通教室及び廊下の床改修工事　７月～８月
(4)相談室壁撤去工事　８月～９月
(5)照明ＬＥＤ化改修工事　７月～11月
(6)エアコン設置工事　６月～11月
(7)生徒用トイレの洋式化工事　７月～８月

３．備品について

購入予定物品：校旗、校章旗、優勝旗、体育館幕、校歌額等

４．小規模特認校について

(1)進捗状況

うつい小中学校の開校に合わせて令和６年４月から導入する小規模特認校制度について、既に制定した規則に基づいて募集要項等を作成し、特認校制度等について周知を図っている。

(2)周知方法

①市内の小中学校、就学前施設及びＰＴＡへの説明
②市ホームページ
③市報８月号

(3)就学の要件（次の要件をすべて満たすこと）

①就学希望者及び保護者が、下関市内に居住している、又は就学までに下関市内に転入する見込みがあること
②保護者が、小規模特認校の教育活動を理解し、賛同すること
③保護者の責任と負担において、児童生徒を安全に通学させること
④原則として卒業まで就学すること

(4)募集人数

少人数教育のよさを生かした教育活動が継続できるよう、１学年の在籍数を10人程度とし、募集人数と校区内（指定校）児童生徒数を合わせて10人程度となるよう決定している。なお、募集人数を超えた応募があった場合は、抽選により決定する。

学校	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生
内日小学校	６人程度	６人程度	８人程度	７人程度	８人程度	10人程度
内日中学校	５人程度	７人程度	若干名	－	－	－

(5)今後のスケジュール

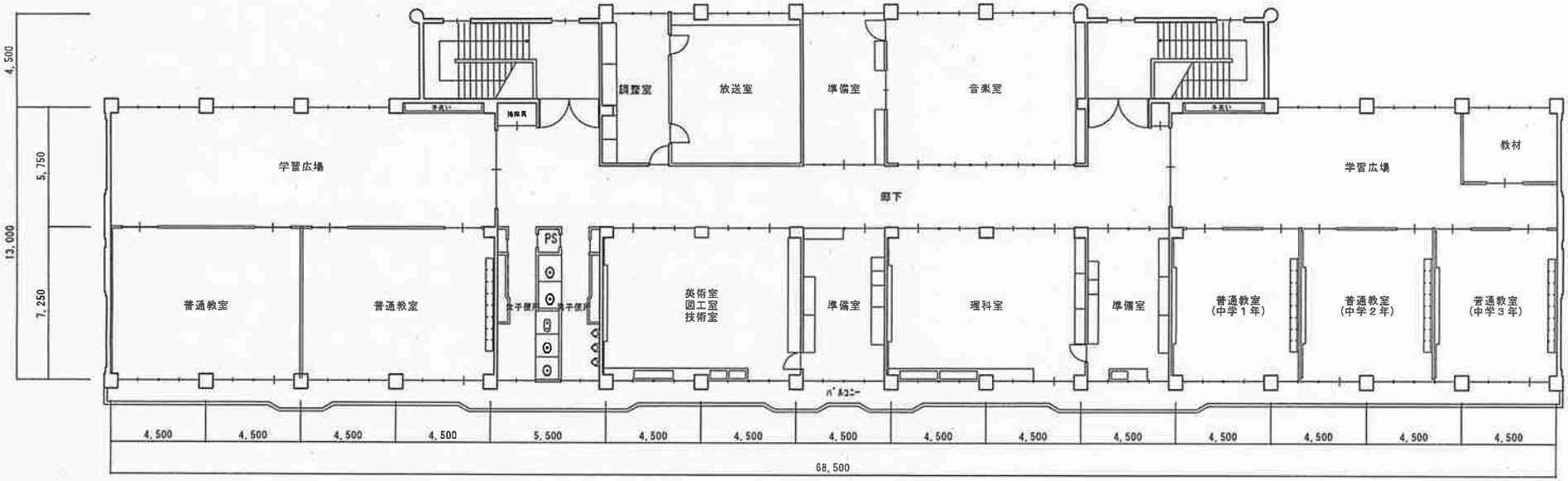
①令和５年９月～　就学希望者への学校説明会(９月２日)、学校見学会（随時）（いずれも内日小中学校主催）
②令和５年10月～11月末　申請受付
③令和５年12月末まで　教育委員会から申請者へ結果通知
④令和６年４月１日　就学開始

５．内日中学校の跡地利用について

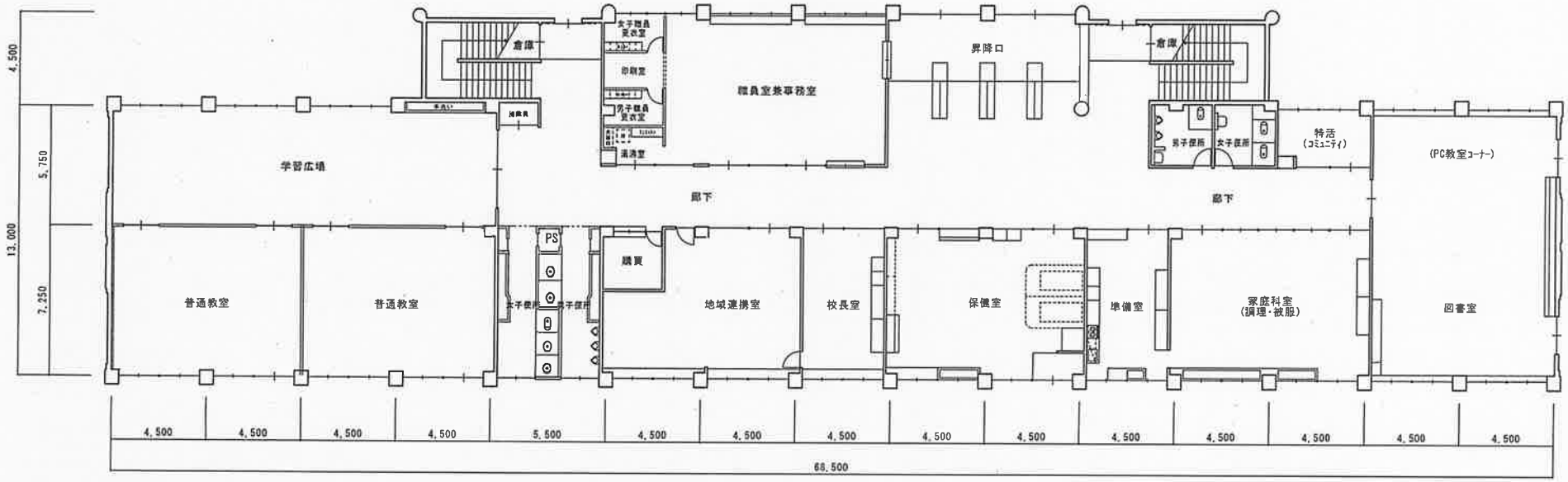
「公共施設の適正配置に関する方向性（中期）」に沿って検討する。

６．その他

①　閉校記念式典は実施しない（条例上小中学校はそれぞれ存在する）
②　開校記念式典は実施する　（小中一貫教育校として新たに開校）


学習広場
調整室
放送室
準備室
音楽室
学習広場
教材
廊下
普通教室
普通教室
PS
女子便所
男子便所
美術室
図工室
技術室
準備室
理科室
準備室
普通教室
(中学１年)
普通教室
(中学２年)
普通教室
(中学３年)
バルコニー
4,500
5,750
7,250
13,000
68,500

２階平面図


倉庫
女子職員
更衣室
印刷室
男子職員
更衣室
湯沸室
職員室兼事務室
昇降口
倉庫
学習広場
廊下
廊下
男子便所
女子便所
特活
(コミュニティ)
(PC教室コーナー)
PS
購買
普通教室
普通教室
女子便所
男子便所
地域連携室
校長室
保健室
準備室
家庭科室
(調理・被服)
図書室
4,500
5,750
7,250
13,000
68,500

１階平面図

報　告　事　項
令和５年８月２４日
教　育　研　修　課

令和５年度全国学力・学習状況調査の結果について

このことについて、別紙のとおり報告いたします。

定例会報告資料
令和５年８月２４日
教育研修課

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について（概要）

１　実施日　令和５年４月１８日（火）

２　実施対象及び教科
（１）小学校６年生：国語、算数
（２）中学校３年生：国語、数学、英語

３　実施校
（１）小学校４１校
（２）中学校２２校

４　結果（平均正答率）
（１）小学校

	国語	算数
全　国	67.2	62.5
山口県	67	61
下関市	66	60

（２）中学校

	国語	数学	英語
全　国	69.8	51.0	45.6
山口県	70	52	44
下関市	68	49	41

※文部科学省の示す県及び市の公表値は整数値となります。

５　主な成果と課題
（１）成果
○学習意欲及び自己効力感の向上
（２）課題
○必要な情報を読み取る（聞き取る）力の育成
○考えや理由を説明する力の育成

６　今後の取組
（１）課題解決に向けた共通取組事項の共有
○読解力・説明力の育成
・「下関スタンダード」を活用した授業形態の工夫
・ICT 機器を活用した資料提示及び発表方法の工夫
○家庭や地域と連携した自己効力感のさらなる育成
（２）指導主事によるきめ細かな研修支援の実施
（３）教員の指導力向上に向けた研修会の開催

定　例　会　報　告　資　料
令和５年８月２４日

令和5年度 全国学力・学習状況調査における下関市の結果分析について

【詳細資料】

Ⅰ　調査結果経年変化・・・・・・P1

Ⅱ　児童生徒質問紙回答結果・・・P2

Ⅲ　教科に関する調査結果・・・・P3～P5

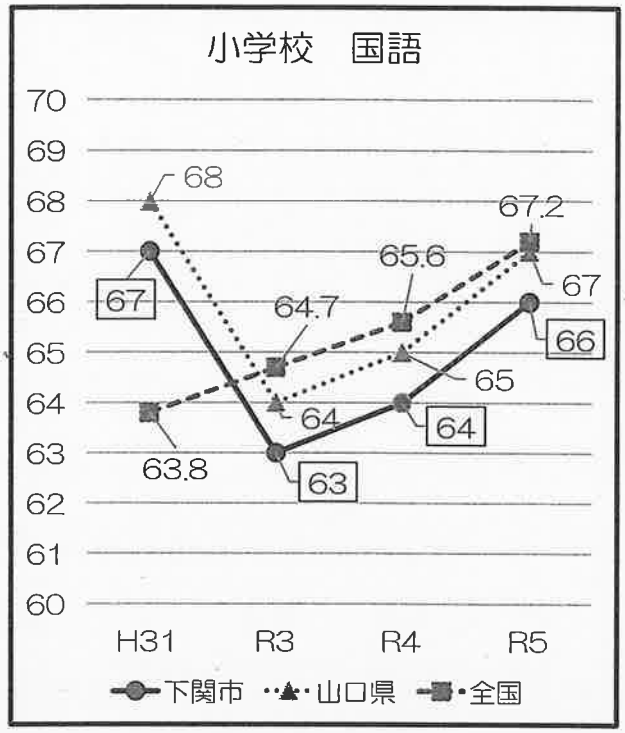
Ⅳ　学校質問紙回答結果・・・・・P6

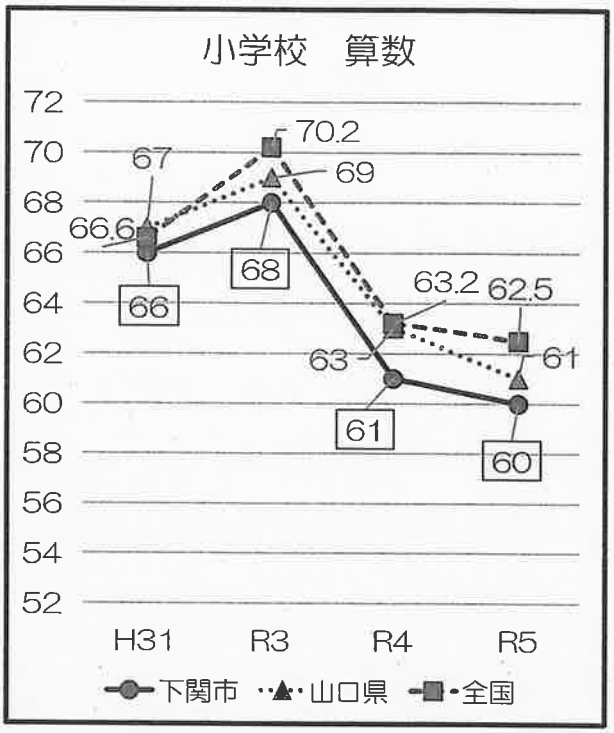
Ⅴ　今後の取組・・・・・・・・・・P7

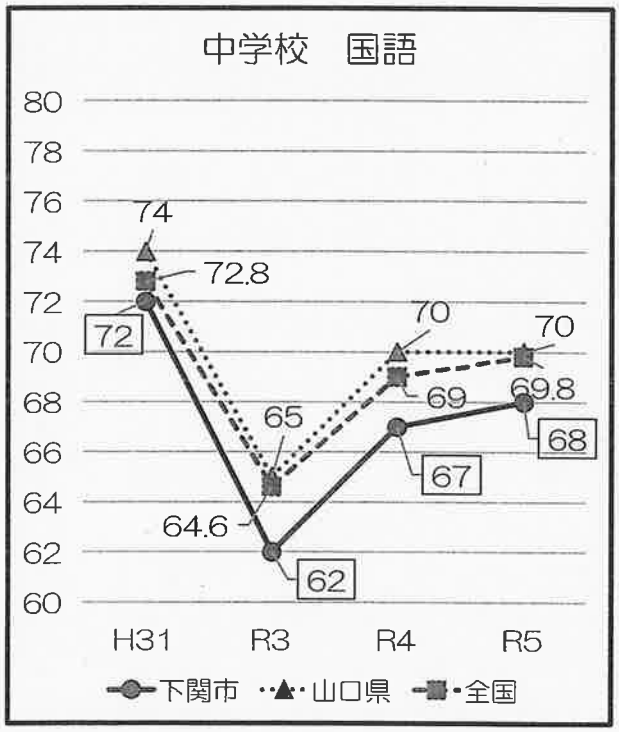
教育研修課

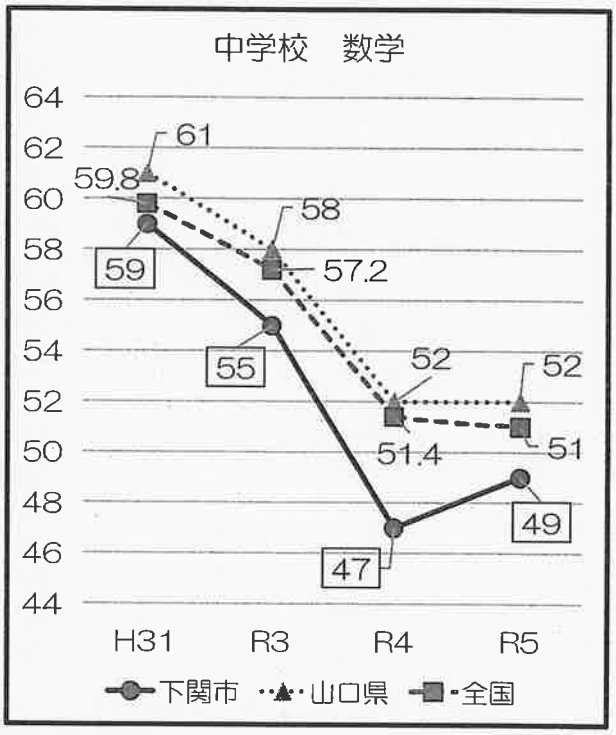
Ⅰ　調査結果経年変化（年度別）【H３１～R５】

※　R2は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国一斉の実施は行っておりません。









※結果については、令和５年７月２４日現在、WEB上で発表された数値を参照
※文部科学省から公表される県・市の平均正答率は整数値

R5	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
下関市	66	60	68	49	41
山口県	67	61	70	52	44
全　国	67.2	62.5	69.8	51	45.6

Ⅱ　児童生徒質問紙回答結果

※数字は「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」の合計（上段：下関市小学校　下段：下関市中学校）

（1）学習意欲（項目例）

設問番号		R5 質問項目	R3	R4	R5	全国との差
小	33	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	77.2	78.0	79.1	+0.3
中	37		84.8	82.2	82.2	+3.0
小	43	国語の勉強は好きだ。	56.5	59.9	62.7	+1.2
中	47		63.2	62.0	62.4	+1.0
小	51	算数（数学）の勉強は好きだ。	68.6	65.6	62.6	+1.2
中	55		63.2	62.1	62.8	+6.1
小	37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。	80.0	79.8	81.7	+4.3
中	41		78.7	79.4	73.8	+4.6

（2）学習習慣（項目例）

設問番号		R5 質問項目	R3	R4	R5	全国との差
小	16	家で自分で計画を立てて勉強している（授業の予習、復習を含む）。	73.6	68.7	71.4	+0.7
中	16		65.6	63.6	59.6	+4.6
小	17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしているか。（1時間以上の割合）	63.4	57.5	58.8	+1.7
中	17		71.6	67.7	64.8	−1.0

（3）生活習慣（項目例）

設問番号		R5 質問項目	R3	R4	R5	全国との差
小	1	朝食を毎日食べている。	95.3	94.1	93.7	−0.2
中	1		92.4	92.2	91.7	+0.5
小	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	80.4	79.8	81.4	+0.4
中	2		81.0	80.3	79.6	+1.6
小	20	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしているか。（30分以上の割合）	35.9	35.3	34.7	−2.6
中	20		29.9	30.7	28.9	+0.5

（4）説明力（項目例）

設問番号		R5 質問項目	R3	R4	R5	全国との差
小	32	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	61.0	63.6	63.1	−0.6
中	36		58.0	55.0	56.2	−5.9
小	34	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。	66.6	71.3	75.4	+1.0
中	38		66.2	74.7	73.1	+4.0

（5）自己効力感（項目例）

設問番号		R5 質問項目	R3	R4	R5	全国との差
小	4	自分には、よいところがあると思う。	76.6	78.6	83.5	0
中	4		76.1	81.0	81.8	+1.8
小	5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。		86.2	95.9	+2.9
中	5			88.7	89.3	+2.0
小	11	人の役に立つ人間になりたい。	96.6	96.6	97.2	+1.3
中	11		96.4	96.0	93.4	−1.2

Ⅲ　教科に関する調査結果【小学校国語・中学校国語】

（1）小学校国語

	下関市	山口県	全　国
国語	66	67	67.2

学習指導要領の内容	下関市	山口県	全　国
話すこと・聞くこと	69.8	71.8	72.6
書くこと	25.8	26.7	26.7
読むこと	70.6	71.6	71.2
言葉の特徴や使い方に関する事項	70.5	70.9	71.2

【基礎学力の定着】

＜設問１三：短答式（言葉の特徴や使い方に関する事項）＞

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

（下関市 71.8%　全国 72.8%）−1.0p　※3問平均値（ア：意外　イ：比べて　ウ：期間）

【全国平均と比較して正答率が高かった問題例】

＜設問１一：選択式（情報の扱い方に関する事項）＞

○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。

（下関市 67.2%　全国 64.7%）+2.5p

【全国平均と比較して正答率が低かった問題例】

＜設問２二：選択式（読むこと）＞

○目的に応じて、文章と図表を結びつけ、必要な情報を見付けることができる。

（下関市 63.9%　全国 67.4%）−3.5p

〈設問３一：選択式（話すこと・聞くこと）〉

○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。

（下関市 70.3%　全国 73.8%）−3.5p　※2問平均値

（2）中学校国語

	下関市	山口県	全　国
国語	68	70	69.8

学習指導要領の内容	下関市	山口県	全　国
話すこと・聞くこと	81.2	83.3	82.2
書くこと	59.7	62.8	63.2
読むこと	61.8	64.5	63.7
言葉の特徴や使い方に関する事項	65.5	66.1	67.5

【基礎学力の定着】

＜設問３二：短答式（言葉の特徴や使い方に関する事項）＞

○文脈に即して漢字を正しく書く。

（下関市 41.2%　全国 43.9%）−2.7p　（推し量って）

【全国平均と比較して正答率が低かった問題例】

＜設問３三：短答式（情報の扱い方に関する事項）＞

○具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。

（下関市 57.0%　全国 61.8%）−4.8p

＜設問４二：短答式（我が国の言語文化に関する事項）＞

○原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す。

（下関市 69.1%　全国 74.1%）−5.0p　（「いと」→「とても」「まことに」）

＜設問４三：記述式（読むこと）＞

○現代語で書かれた「竹取物語」の工夫されている点について、古典と比較して書く。

（下関市 45.0%　全国 50.0%）−5.0p

教科に関する調査結果【小学校算数・中学校数学】

（1）小学校算数

	下関市	山口県	全　国
算数	60	61	62.5

学習指導要領の領域	下関市	山口県	全　国
数と計算	65.7	66.2	67.3
図形	43.2	45.7	48.2
測定	設問なし	設問なし	設問なし
変化と関係	68.7	69.4	70.9
データの活用	63.2	64.6	65.5

【全国平均と比較して正答率が低かった問題例】

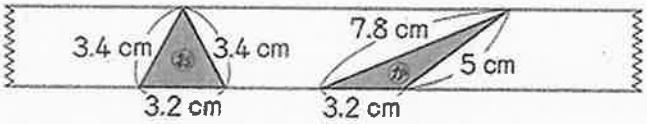
＜設問２（３）：短答式（図形）＞

○正三角形の意味や性質について理解している。（下関市 18.3%　全国 24.9%）−6.6p

＜設問２（４）：記述式（図形）＞

○高さが等しい三角形について、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数で記述できる。

（下関市 14.6%　全国 20.8%）−6.2p



＜設問３（４）：選択式（数と計算）＞

○６６÷３の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ。

（下関市 38.1%　全国 47.6%）−9.5p

＜設問４（１）：選択式（変化と関係）＞

○示された基準量と比較量から、割合が３０%になるものを選ぶ。

（下関市 39.6%　全国 46.0%）−6.4p

（2）中学校数学

	下関市	山口県	全　国
数学	49	52	51.0

学習指導要領の領域	下関市	山口県	全　国
数と式	63.3	65.4	63.0
図形	28.2	31.0	33.2
関数	47.2	50.5	51.2
データの活用	49.1	50.5	48.5

【全国平均と比較して正答率が低かった問題例】

＜設問８（１）：短答式（関数）＞

○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。

（下関市 53.2%　全国 57.5%）−4.3%

＜設問８（２）：選択式（関数）＞

○二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ。

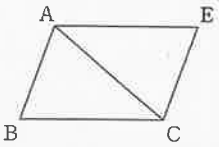
（下関市 56.4%　全国 61.7%）−5.3%

＜設問８（３）：記述式（関数）＞

○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。

（下関市 37.1%　全国 42.8%）−5.7p

【全国平均と比較して正答率が低く、無回答率が高かった問題例】



＜設問９（１）：記述式（図形）＞

○２つの直線ＢＣと直線ＡＥが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する。

（下関市 26.5%　全国 32.1%）−5.6p　無解答率・・・下関市 30.2%　全国 24.7%

＜設問９（２）：短答式（図形）＞

○二等辺三角形でない２つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く。

（下関市 32.3%　全国 37.0%）−4.7p　無解答率・・・下関市 17.9%　全国 14.2%

教科に関する調査結果【中学校英語】

中学校英語

	下関市	山口県	全　国
英語	41	44	45.6

学習指導要領の領域	下関市	山口県	全　国
聞くこと	52.8	55.7	58.4
読むこと	47.4	50.3	51.2
書くこと	19.0	21.7	23.4

【全国平均と比較して正答率が低かった問題例】

＜設問１（２）：選択式（聞くこと）＞
○道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。
（下関市59.7%　全国64.4%）－4.7p

＜設問１（３）：選択式（聞くこと）＞
○買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。
（下関市41.4%　全国49.8%）－8.4p

＜設問２：選択式（聞くこと）＞
○忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する。
（下関市54.7%　全国61.1%）－6.4p

＜設問３：選択式（聞くこと）＞
○バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する。
（下関市33.5%　全国41.2%）－7.7p

＜設問５（１）：選択式（読むこと）＞
○ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する。
（下関市50.6%　全国56.0%）－5.4p

＜設問５（２）：選択式（読むこと）＞
○事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する。
（下関市59.8%　全国64.5%）－4.7p

＜設問７（２）：選択式（読むこと）＞
○図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する。
（下関市29.7%　全国34.7%）－5.0p

【全国平均と比較して正答率が低く、無回答率が高かった問題例】

＜設問８（２）：記述式（書くこと）＞
○ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く。
（下関市12.6%　全国19.5%）－6.9p　無解答率・・・下関市37.7%　全国29.3%

＜設問９（１）②：短答式（書くこと）＞
○与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる。
（下関市15.4%　全国20.9%）－5.5p　無解答率・・・下関市13.9%　全国10.9%

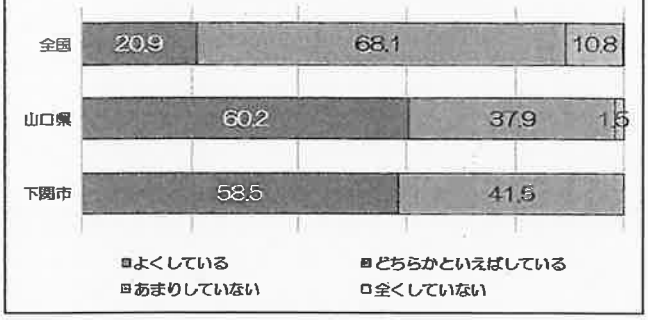
＜設問９（２）：短答式（書くこと）＞
○メールの英文を依頼する表現に書き換える。
（下関市26.3%　全国29.0%）－2.7p　無解答率・・・下関市30.7%　全国24.5%

＜設問10：記述式（書くこと）＞
○学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを１つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。
（下関市4.4%　全国7.4%）－3.0p　無解答率・・・下関市27.9%　全国21.4%

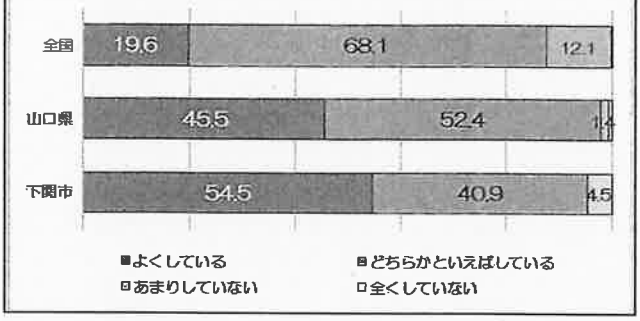
Ⅳ　学校質問紙回答結果【小学校・中学校】一部抜粋

（1）主体的・対話的で深い学びからの授業改善⇒課題・取組は全教職員で共有

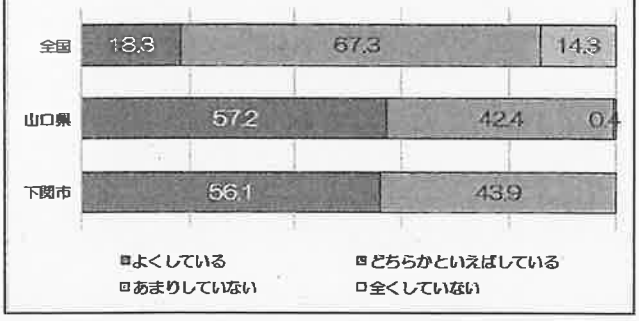
(34)習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか(小学校)



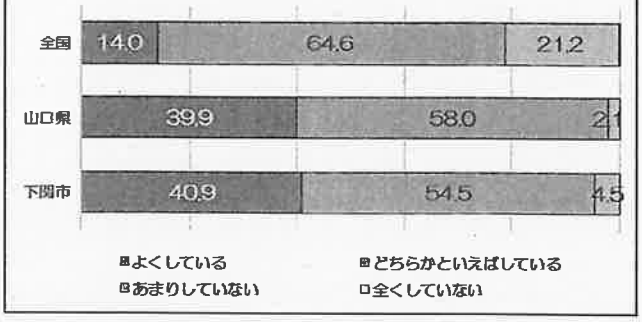
(34)習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか(中学校)



(35)各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか(小学校)

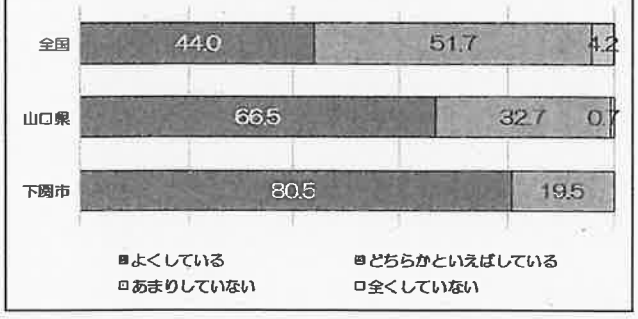


(35)各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか(中学校)

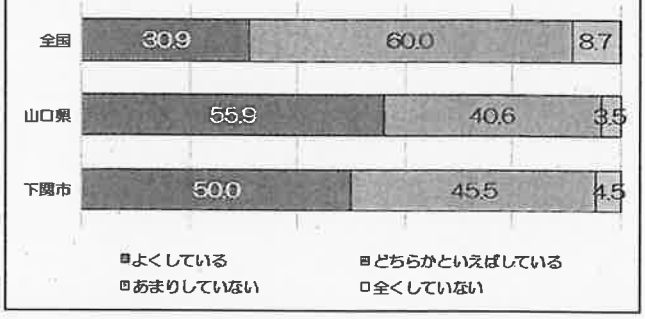


（2）家庭学習⇒授業につながる家庭学習・家庭学習につながる授業づくり

(76)学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか(小学校)

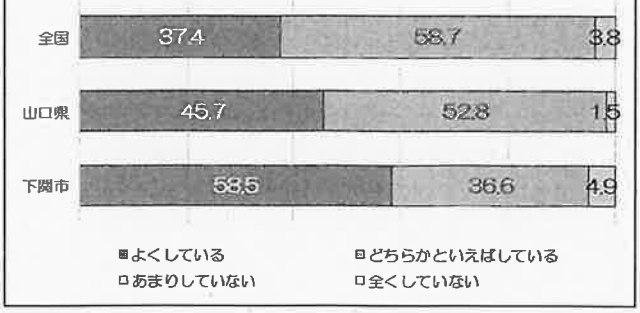


(84)学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか(中学校)

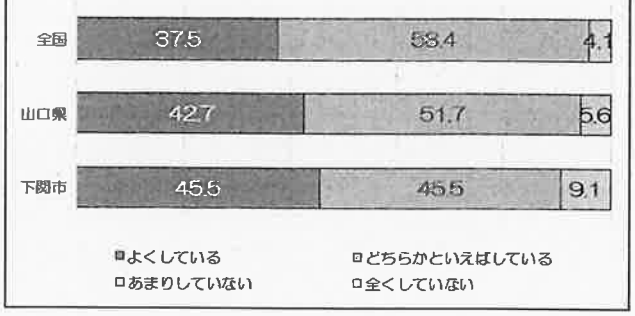


（3）業務改善⇒児童生徒と向き合う時間の確保

(17)ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化に取り組んでいますか(小学校)



(17)ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化に取り組んでいますか(中学校)



Ⅴ　今後の取組

「学びが好きな子ども」の育成、「学びの街　下関」の実現のために

（1）課題解決に向けた共通取組事項

【読解力・説明力、自己効力感・知的好奇心の育成】

○　読解力＋説明力の育成

課題解決のためには、文章や図・グラフ等、複数の情報を整理して自分の考えをまとめる力と、伝えたい事柄を明確にし、筋道立てて論理的に説明する力が大切である。

○　自己効力感＋知的好奇心の育成

自己効力感（課題に直面したときに乗り越えられる力）を育むためには、達成感（分かった、できた）を日々の授業の中で味わわせることが大切である。そして、課題を乗り越えたことで、「もっと学びたい」「この場合はどうだろう」という新たな課題が生まれ、知的好奇心につながるサイクルが生まれる。

【学習指導の充実】

授業づくりリーフレット「下関スタンダード」をもとにした学習指導

○　「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確にした授業づくり

○　見通しと振り返り（評価）のある授業づくり

⇒教師による授業評価・授業改善サイクルの確立

⇒児童生徒の学び方改善

○　板書型指導案を活用した積極的な授業公開

【校内研修の活性化】

○　全国学力・学習状況調査等の結果分析と課題把握（誤答分析・質問紙結果に基づく授業改善）

○　研究課題解明へ向けた「目標」と「取組」の共有・協働実践

○　ＩＣＴの効果的な活用を全校的・系統的に取り組むための取組の共有、分類・整理

【家庭や地域との連携】

○　全国学力・学習状況調査等の目的や実施状況等の児童生徒や家庭、地域との共有

○　家庭学習の内容を具体的に示したり、取組の成果を価値付けたりする家庭学習の充実

○　コミュニティ・スクールの仕組みを生かした中学校区での合同研修会や９年間の学びを意識した連携カリキュラムの継続・改善

（2）指導主事による支援

○　研修支援訪問・要請訪問等による授業力向上に向けた学校への研修支援

○　年間２回の検証・改善サイクル取組確認表や「下関スタンダード」を活用した指導・助言

（3）教員の指導力向上に向けた研修

○　初任者研修、フォローアップ研修、中堅教諭等資質向上研修等における「下関スタンダード」を活用した授業づくりに関する指導

○　学力向上担当、研修主任を対象とした学力向上に係る研修の実施

○　市内教職員を対象とした自主研修会「わくわく教師塾 in 下関」の実施

【参考】山口県４月確認問題の結果

学年	小5年		中1年		中2年		
教科	国語	算数	国語	数学	国語	数学	英語
下関市 平均正答率	53.5	64.7	63.2	66.9	64.0	54.4	50.3
山口県 平均正答率	54.6	65.9	64.4	67.1	65.0	54.6	50.8

（※自校採点結果）

報　告　事　項
令和５年８月24日
学　校　支　援　課

大雨災害による下関市立小学校、中学校及び下関商業高等学校の災害復旧状況について

令和５年６月３０日からの大雨災害による下関市立小学校、中学校及び下関商業高等学校の災害復旧状況を、下記のとおり報告いたします。

記

●大雨災害による災害復旧状況

学校名	被害内容	復旧状況
吉田小学校	体育館　雨漏り	対応済み
王喜小学校	グラウンド真砂土流出	対応中
垢田小学校	体育館　雨漏り	対応済み
小串小学校	運動場山側法面土砂流出	対応済み
日新中学校	北側法面崩落	対応済み
木屋川中学校	体育館　雨漏り	対応済み
吉見中学校	体育館・武道場　雨漏り	対応済み
豊田中学校	体育館　床下浸水	対応済み
豊洋中学校	県道側法面崩落	対応済み

報　告　事　項
令和５年８月２４日
生　涯　学　習　課

下関市青少年補導委員の委嘱について

下関市青少年補導委員設置規則（平成１７年下関市規則第７３号）第２条第３項の規定に基づき、下関市青少年補導センター運営協議会の推薦により市長が委嘱しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

１　下関市青少年補導委員被委嘱者

校区名	被推薦者名	委嘱年月日
彦島校区	江藤　文彦	令和５年８月１日
彦島校区	八田　廣	令和５年８月１日

２　委嘱期間
令和５年８月１日から令和７年５月３１日まで

３　報告説明
校区補導委員の欠員を補充するため、新たに２名の委員を委嘱した。

【参考】
青少年補導委員設置規則（抜粋）
（補導委員）
第２条　補導委員は、常駐補導委員及び非常駐補導委員とする。
２　常駐補導委員は、下関市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が設置する青少年補導センターの職員をもって充てる。
３　非常駐補導委員は、教育委員会が設置する青少年補導センター運営協議会の推薦により、市長が委嘱する。
４　非常駐補導委員の任期は、２年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
５　前項の委員は、再任されることができる。
６　補導委員たるにふさわしくない行いがあった者は、直ちに解嘱することができる。

報　告　事　項
令和５年８月２４日
文化財保護課

令和５年度下関市立考古博物館企画展「古墳の群像」の開催について

令和５年度下関市立考古博物館企画展「古墳の群像」の開催について、下記のとおり報告いたします。

記

１．名　　称　令和５年度下関市立考古博物館企画展
「古墳の群像～後期古墳から考える下関の地域性～」

２．内　　容
下関市内の古墳時代後期にスポットを当て、後期古墳の出土品や内部構造などの基本情報から、古墳の性格を把握することで地域的な特徴を明らかにし、下関の古墳時代後期の地域性に迫る。

３．開催期間　令和５年９月９日（土）～１１月２６日（日）

４．会期中の関連行事
【企画展展示解説会】
・実施日：会期中の下記日程で４回開催　※日曜日開催
（９月２４日、１０月１５日、１０月２９日、１１月１２日）
・時　間：①１０時３０分～、②１４時００分～（各６０分程度）
・定　員：各回１０名程度

５．参考資料　開催案内チラシ

報　告　事　項
令和５年　８月２４日
中　央　図　書　館

電子図書館について

電子図書館について、下記のとおり報告いたします。

記

１　名称
「しものせき電子図書館」として、ウェブサイト上で運用

２　概要
・最寄りの図書館が遠い方や日中の来館が難しい方、視覚障害者の方、小中学校の全児童・生徒等が気軽に本に触れることができる環境を提供
・図書館の休館時でも継続した図書館サービスを提供

３　利用開始日
令和５年１０月３日（火）

４　利用対象者
・図書館が発行する登録証の交付を受けた、下関市内に居住、通勤又は通学する個人
・学校を通じてＩＤを付与された市内の小中学校の全ての児童生徒

５　利用申請
・すでに登録証の交付を受けた、下関市内に居住する個人は、利用申請なしで電子図書館の利用が可能
・下関市内に通勤又は通学する個人については、すでに登録証の交付を受けていても利用申請が必要

６　導入内容
・電子図書（有期限）４２７タイトル
・電子図書（無期限）３９８タイトル
・児童書読み放題パック　３４３タイトル
・電子雑誌読み放題サービス　１８０タイトル程度

報　　告　　事　　項
令和５年（2023年）８月２４日
美　　術　　館

企画展　「赤間関硯　堀尾信夫の挑戦」について

美術館の企画展示の開催について、下記のとおり報告いたします。

記

１　企画展示の名称

企画展　「赤間関硯　堀尾信夫の挑戦」

２　概要

下関を代表する伝統工芸として、長い歴史を誇る赤間関硯。堀尾信夫（１９４３－）は、その技を継承する硯作りの第一人者です。巨匠・堀尾卓司（1910－1986）の次男として技を継承し、主に伝統工芸の分野で活躍を続けてきました。古典的な硯の制作を踏まえながらもそれに留まらず、柔らかさや温もりを感じさせる用美一体の造形を身上に、近年も新境地を開拓しています。８０歳を迎える今年、洗練された造形を求めて挑戦を続ける、その創作の軌跡をご紹介します。

また、近世や近代の赤間関硯、堀尾の後進たちの創作も一部で紹介を予定しています。堀尾信夫の硯約５０点を軸に約７０点の硯作品により、赤間関硯の歴史と未来を展観します。

３　会期等

令和５年９月５日（火）～１０月１５日（日）
休館日　月曜日（祝日の９月１８日、１０月９日は開館）

４　会場

下関市立美術館　（下関市長府黒門東町1-1）

５　主催

下関市立美術館

６　助成

エネルギア文化・スポーツ財団

７　協賛

やまぐち文化プログラム

８　観覧料

一般５００円（４００円）／大学生４００円（３２０円）
※　（ ）内は平日料金。
※　１８歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料
※　下関市内在住の６５歳以上の方は半額

９　その他

詳細は、別紙資料（席上配布）のとおり

以上

報　告　事　項
令和５年８月２４日
豊浦教育支所

令和５年度に指定管理者を再指定する施設について

下関市小野ふれあいセンターについては、平成２１年４月から指定管理者制度を導入し、非公募による単独指定により、現在小野ふれあいセンター運営委員会が５年間の指定管理を行っているところです。

令和６年３月末で３度目の指定管理期間が満了するため、下記のとおり非公募による単独指定により指定管理候補者を選定する旨報告いたします。

記

１　令和５年度に指定管理者を再指定する施設

施設名	現管理形態（選定方法）	令和６年度以降		所管
		管理形態	選定方法	
下関市小野ふれあいセンター	指定管理（単独指定）	指定管理	非公募	豊浦教育支所

〔非公募の理由〕

下関市小野ふれあいセンターは、平成１３年度に旧小野小学校が川棚小学校に統合されたことに伴い、同小学校が担ってきた地域住民の重要な交流場所としての役割の代替施設として、また、自主性・共同性を活かした快適で活力あるまちづくり、人づくりを総合的に推進することを目的として、平成１７年度に市が整備した公の施設である。本施設は、地域住民が主に利用する利用者が限られた小規模な施設であること、また利用者との円滑な連絡調整ができる等、地域団体による施設の管理運営が効率的かつ効果的であると認められるため、公募によらず特定の団体を指定管理候補者として選定するもの。（下関市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第６条第１項第１号に該当）

※ 指定期間は、令和６年４月１日～令和１１年３月３１日までの５年間

２　今後の予定

再指定方針の報告	令和５年第３回（９月）文教厚生委員会報告
選定委員会	令和５年１０～１１月開催予定
指定管理候補者の決定	選定委員会の意見及び選定の基準に基づき、下関市教育委員会にて決定
指定管理者指定の議決	令和５年第４回（１２月）定例会に上程
基本協定の締結	指定管理者の指定議案議決後（令和６年１月）

報　告　事　項
令和５年８月２４日
こども未来部幼児保育課

令和６年度 下関市立就学前施設の園児募集について

１　募集スケジュール

（１）１号認定子ども（幼稚園・認定こども園）

募集期間	令和５年１０月１７日（火）～　令和５年１０月１９日（木）
備　　考	各園で受付（入園申込書等を提出）

※私立園については各園が定める募集期間

（２）２・３号認定子ども（保育園・認定こども園・事業所内保育事業所）

募集期間	令和５年１０月　２日（月）～　令和５年１１月　２日（木）
追加募集	令和６年　１月１０日（水）～　令和６年　１月２６日（金）
備　　考	各園で受付（教育・保育給付認定申請書を提出）

※市が利用調整を行うため、公立・私立の区別なく同じ募集期間

２　周知方法

市報しものせき１０月号～１月号

市の公式ホームページ、子育て支援アプリ　等

３　下関市立就学前施設

	幼稚園（４園）	保育園（９園）	認定こども園（10園）
募　集	清末幼稚園（３年教育） 小月幼稚園（３年教育） 川中幼稚園（３年教育） 豊東幼稚園（３年教育）	彦島第一保育園 名池保育園 幸町保育園 長府第二保育園 長府第三保育園 長府第四保育園 吉見保育園 幡生保育園 双葉保育園	王喜こども園 菊川こども園 豊田下こども園 西市こども園 川棚こども園 豊北こども園 黒井こども園 中央こども園 垢田こども園 豊浦こども園
休　止	内日幼稚園（H29～） 第一幼稚園（R6～）		